

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	絵本実習2	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	しんぼ けいこ	実務経験の有無・職種	有・イラストレーター		
<b>学習目的</b>					
<p>前期で修得した物語制作への技術を土台として描画・ストーリー実習においては更なる独自性と確実な伝達表現の追求を目的とし、製本実習においては手製本では実際の作業から基礎的な技術を習得するとともに発注製本ではデータ入稿の手順を学ぶ。どちらにおいても紙の特性・質感を理解・実感し冊子媒体の構造、作成の工程及びページネーションの持つ効果・重要性を実技として修得しながらデザイン表現の可能性を探ることがねらいである。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>以下のスキルを獲得することを目標とする。</p> <p>①発想にストーリー性を持たせ、効果的に視覚化するための道具を用いた制作ができる。</p> <p>②冊子制作において媒体の構造、必要な手順を理解できる。</p> <p>③講師・学生間で自己または他者の作品について議論・検証できる。</p> <p>④明確な言葉で自己または他者の作品を理解・紹介・発表できる。</p> <p>⑤設けられた期限内で作品を完成・提出することができる。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	本文を含む書籍全体のデザインの可能性を探る目的として媒体の選択は漫画、動画、立体など自由に幅広く設定している。制作過程においての作業の綺麗さ・道具の使い方についても評価対象とし造形力の基礎を作ると共に、物語表現を伝達手段とした場合の見る者を意識した更なる創造性・独創性を追求する表現、作品を通したセルフプロデュース力の強化を目指す。				
注意点	授業への出席は講師・学生間での情報交換の貴重な機会と自覚し、ディスカッションには積極的に参加する。使用画材など忘れ物をしないよう、前日までに足りないもの、用意するものは揃えておく。授業時間の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施並びに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	週毎の到達度	20%	スケジュールに沿った制作への取り組み方を評価する		
	課題完成度	50%	提出課題の完成度を総合的に評価する		
	プレゼン	20%	作品をどれだけプロデュースできるかを評価する		
	平常点	10%	出席率・授業態度・情報交換への参加度を評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス	授業の流れと提出課題について理解することができる			
2回	制作実習①	ストーリー・キャラクターの骨子を提案することができる			
3回	制作実習②	詳細な設定・シナリオ・キャラクターデザインを決定することができる			
4回	制作実習③	上記の演習で得た素材を元にラフ画を作成できる			
5回	制作実習④	ページネーションを理解し作成することができる			
6回	制作実習⑤	使用画材を決定し下描きに入ることができる			
7回	制作実習⑥	下描きを完成させペン入れにより線画に取り掛かることができる			
8回	プレゼンテーション・講評	上記までの経過作品を説明・紹介・発表・提出することができる			
9回	制作実習⑦	線画を仕上げるることができる			
10回	制作実習⑧	色計画を立て着彩に入ることができる			
11回	制作実習⑨	全体の2分の1まで着彩を仕上げるることができる			
12回	制作実習⑩	全体の3分の2まで着彩を仕上げるることができる			
13回	制作実習⑪	着彩を完成させることができる			
14回	制作実習⑫	製本に入り、物語を視覚化した最終的な形に仕上げるることができる			
15回	プレゼンテーション・講評	完成品を説明・紹介・発表・提出することができる			